

看護学科

科目名: 在宅看護学援助論 I			担当教員 氏名: 荒木 晴美			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	2年次	前期	専門科目	演習	必修	
実務経験を用いてどのように病院、訪問看護事業所管理者(訪問看護、居宅介護、福祉用具貸与)での実務経験を活かして、在宅で暮らす人々の理解、QOL向上に向けた多職種との連携・協働のあり方を教授する。						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
地域で暮らす療養者、家族を対象とした看護を展開できるようになるために、在宅療養者とその家族に対する在宅ケアの実際と、地域の特徴を捉えた展開方法を知り、そのケアシステムにおいて活動する看護職および介護支援専門員の役割を学ぶ。また、様々な障害を持つ人々が地域で暮らし続けるための仕組みとその仕組みづくりの方法や過程について学ぶ。					地域、ケアシステム、仕組みづくり	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (短短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10		
A 知識・理解力	地域で活動する看護職および介護支援専門員の役割、社会資源の有効な活用方法について理解することができる。					
B 専門的技術	在宅支援サービスの具体的な展開方法を習得する。					
C 論理的思考力	情報や知識を複眼的、論理的に分析し、在宅療養者とその家族のアセスメントができる。					
D 問題解決力	地域の関係機関、各専門職、ケアマネジメントについて理解し「人、こと、もの」に働きかけることができる基礎を作る。					
F チームワーク・リーダーシップ	グループワークを通し、各自専門職としての役割を理解しチームに参画することができる。					
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 40 %	レポート: 10 %	発表: 40 %	実技試験: %	その他: 10 %		
特記事項: 本科目はアクティブラーニングの一環として、障害者疑似体験、事例検討(ロールプレイ、グループディスカッション、プレゼンテーション)などを行う。これらを行うことにより、地域で暮らす療養者、家族、サービスなどを理解し、多職種で連携しながら看護を展開できることをねらいとしている。上記の「その他10%」: 授業の取り組み姿勢を評価します。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 <u>ディスカッション、ディベート</u> <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> 実習 <u>フィールドワーク</u>						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 中間に確認テストを実施します。別に定めた日時に最終テストを行います。適宜レポートの提出と発表を課します。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: テスト、課題は後日返却します。						
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)			
			学習内容	学習に必要な時間(分)		
① オリエンテーション、在宅ケアの連携とマネジメント			【予習】シラバス確認、テキスト1の第1章A、第2章A、第3章A/B、第4章F、テキスト2の第1章①、第2章⑤を熟読 【復習】ノートにまとめる	【予習】120分 【復習】120分		
② 在宅ケアを支える制度と社会資源			【予習】テキスト1の第3章、第4章B、C 【復習】ノートにまとめる	【予習】120分 【復習】120分		
③【課外学習】在宅看護における安全性の確保(富山県福祉カレッジにて住環境、福祉用具の体験) 3回に分けて(A・B・C別日)			【予習】別紙熟読 【課題】課題シート記載	【予習】120分 【復習】120分		
④【課外学習】在宅看護における安全性の確保(富山県福祉カレッジにて住環境、福祉用具の体験) 3回に分けて(A・B・C別日)			【予習】テキスト1の第2章B、第5章C②、第6章環境アセスメントの部分、テキスト2の第2章p19、第3章⑥熟読 【課題】レポート記載	【予習】120分 【復習】120分		
⑤【課外学習】地域で暮らす高齢者・障害者と地域の理解 課外活動(地区踏査) ③④の入っていない時間で実施			【予習】③④⑤の課題シート、レポートでの学びを統合 【復習】ポイントをまとめる	【予習】120分 【復習】120分		
⑥ 地域で暮らす高齢者・障害者、生活環境の理解 ③④⑤まとめ			【予習】テキスト1の第2章B、第4章F、G、テキスト2第2章④の⑦p53-59、⑤の⑦p71-78熟読 【復習】ポイントをノートにまとめる	【予習】120分 【復習】120分		
⑦【特別講義】地域包括支援センターの役割(荒木)			【予習】テキスト1の第3章、第4章F、G、テキスト2第2章④の⑦p53-59、⑤の⑦p71-78熟読 【復習】ポイントをノートにまとめる	【予習】120分 【復習】120分		
⑧ 多(他)職種との連携、在宅におけるケアマネジメントの展開方法 確認テスト			【予習】テキスト1の第3章、第4章F、G、テキスト2第2章④の⑦p53-59、⑤の⑦p71-78熟読 【復習】ポイントをノートにまとめる	【予習】120分 【復習】120分		
⑨ 在宅におけるケアマネジメントの展開方法			【予習】別資料を配布するのでわからないことを調べてくる。テキスト3熟読	【予習】120分 【復習】120分		
⑩ ケアマネジメント(グループ学習) 事例を用いて			【復習】グループ課題の遂行	【予習】120分 【復習】120分		
⑪ ケアマネジメント(グループ学習) 事例を用いて			【予習】合同授業の準備 【復習】グループ課題の遂行	【予習】120分 【復習】120分		
⑫ ケアマネジメント(グループ学習) ケアプラン			【予習】意見交換、発表準備 【復習】レポート作成	【予習】120分 【復習】120分		
⑬ ケアマネジメント(グループ学習)			アクティブラーニング: 看護学科・社会福祉専攻・介護福祉専攻による合同授業、発表	【予習】120分 【復習】120分		
⑭ ケアマネジメント(グループ学習)				【予習】120分 【復習】120分		
⑮ まとめ			【復習】全体の振り返り	【予習】120分 【復習】120分		
使用テキスト: 1. 系統看護学講座 在宅看護論(医学書院出版) ISBN978-4-260-02762-5 2. 看護実践のための根拠がわかる『在宅看護技術』新版 正野逸子、本田彰子(メヂカルフレンド社) ISBN978-4-8392-1588-0 3. みんないきいき介護保険 社会保険出版社 コード89435			その他参考文献など:			
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 授業の予習・復習を前提とした主体的な姿勢で授業に臨んでください。適宜ロールプレイやグループワークを取り入れます。この授業は3年次の在宅看護学実習につながるものです。						